

3月定例市議会

可決された 主な議案

■昭和61年度南国市一般会計補正予算

10億 887万円を減額補正し、総額147億7,758万円となりました。

これらの予算措置によって余った財源で、当初予算で見送った開発公社への支払金 9,394万円を計上しました。

■昭和61年度南国市下水道事業特別会計補正予算

流域関連南国市公共下水道工事に伴う土電軌道敷設工事 430万円を増額、総額 3億 8,740万円になりました。

■昭和61年度南国市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算

3,453万円を増額補正し、総額 6億 5,021万円となりました。

■南国市の議会の議員及び長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例

ポスターの掲示は逐次増加の傾向が見られるため、街の美観やポスター掲示の依頼の問題を考え、ポスター掲示場を設置します。

■南国市保育所入所措置条例

昭和61年12月26日に公布された行革一括法により、児童福祉法の一部が改正されたため、政令に定める基準に従い、入所基準を制定することになりました。

■南国市議会の議員の定数を減少する条例（議員提出）

臨時行政調査会の提言があってから全国的に地方議会の議員定数削減の問題がクローズアップされました。議員定数削減は地方自治運営上の一つの潮流であると考え、

南国市議会の議員の定数を減少し、27人とします。

■昭和62年度南国市一般会計予算

歳入の一部を修正、可決されました。予算の規模は、総額 145億 9,837万円で、前年度の当初予算に対して伸び率 2.7%の緊縮予算となっています。これは一般財源の伸び悩みによるものですが、一方歳出では人件費などの義務的経費が増大するなど、これまで以上に厳しい状況となり、前年度に続いて開発公社への年 2 億円の支払いを一時中止せざるを得なくなりました。主要な施策は次のとおりです。

■地域改善対策

最重点施策として実施します。

野中地区小集落地区改良事業費26億 2,173万円、前浜地区 8億 1,240万円、東崎西部地区10億 6,127万円など、合計45億 2,734万円を計上しました。

■福祉

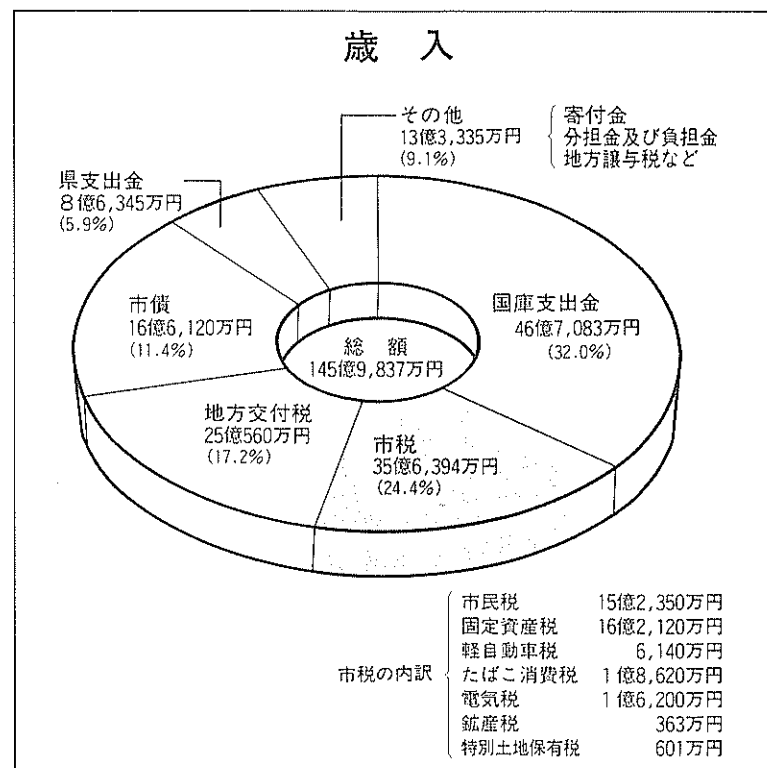
老朽化した明見保育所を移転改築（木造平屋建て 300㎡、用地面積1500㎡程度）するため、9,518万円を計上しました。老人福祉対策として十市老人憩の家（木造 2 階建て、93㎡）を建築するため、1,113万円を計上しました。

■環境衛生

黒滝し尿処理場の改善工事に61年度から着手、本年度には本体工事が完成し、これまでより高度な処理施設となります。改善工事費

昭和62年度

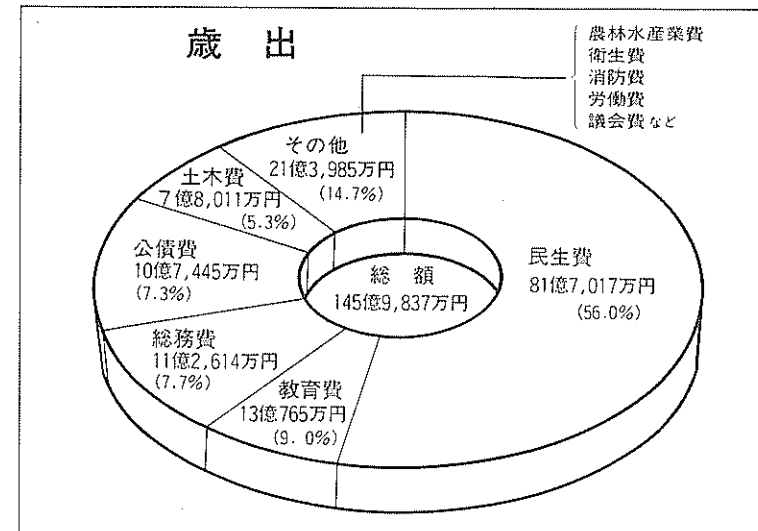
総額145億9,837万円



市民税	15億2,350万円
固定資産税	16億2,120万円
軽自動車税	6,140万円
たばこ消費税	1億8,620万円
電気税	1億6,200万円
鉱産税	363万円
特別土地保有税	601万円

一般会計当初予算

伸び率2.7%過去10年で最低



8,000万円、維持管理関連費 4,700万円を計上しました。

■農業対策

土地改良整備事業費 6,983万円、南国西南地区農免道路調査設計委託費 600万円、県単土地改良事業費 1億 3,250万円、市単土地改良事業費 800万円、県営事業として実施が予定されている広域農道などに対する市の負担金 7,902万円。

■土木

小瀬辺路石線、天神倉の坂線などの道路改良事業費 1億 500万円、小瀬川、小久保川などの河川改修費 1億 5,000万円、高速道路に伴う県補助事業費 4,400万円、市単独道路改良費 5,889万円などが主なものです。

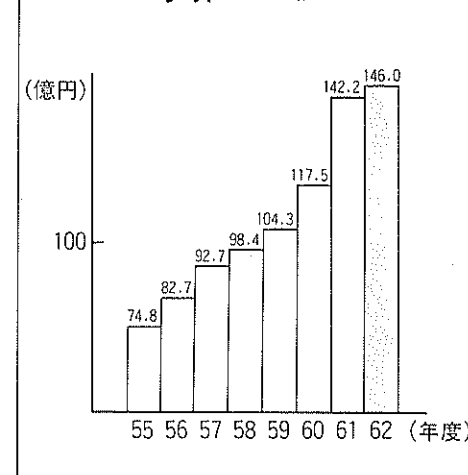
■防災対策

四国横断自動車道南国大豊間の開通に伴う救急業務に対応するための北部出張所工事関連費 6,400万円、消防ポンプ自動車 700万円、消防施設整備費 1,470万円を計上しました。

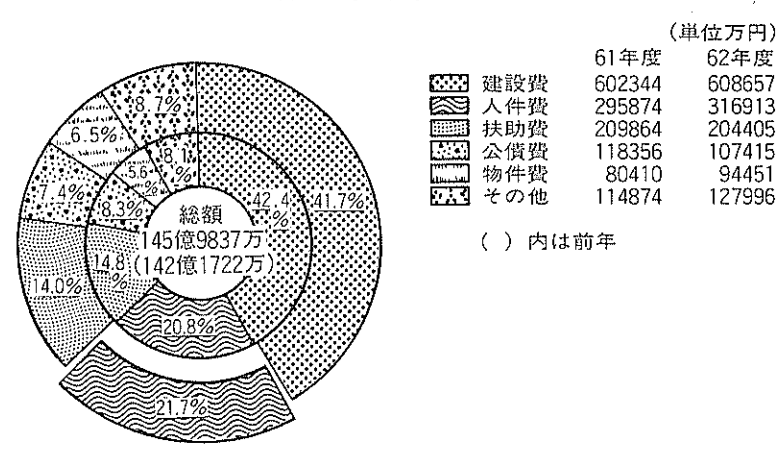
■教育施設

国府小学校屋内運動場 (805㎡) 1億 3,198万円、十市小学校プール (400㎡) 8,565万円、これにより両小学校は一応整備が終わります。生徒急増に伴う教室不足により北陵中学校の校舎を増築 (鉄筋コンクリート 3階建て、延床面

予算の推移



歳出対前年度比



積 702㎡、普通教室 4、特別教室 2) することになりました。香長中学校の騒音対策として 9,010万円を除湿工事を実施、これにより同校の騒音対策は完了します。

社会教育では、西部体育館 (鉄筋コンクリート 3階建て、延床面 1億530万円を計上しています。